

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

学習課題・学習時間							
解剖学、運動学、生理学などを復習し、検査・測定の基本手技について測定方法の実技練習を行っておくこと。							
必要時間（単位：時間）： 5							
達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	30	70	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	10	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	10	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	10	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	10	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	10	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	10	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		実習終了後に、発表を行う。発表者だけでなく参加者全員の質疑応答の内容、態度、ディスカッションの充実度を評価する。				発表を聞き、その場でフィードバックを行う。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	実習への参加、医療従事者として節度ある対応、学科指定の提出物、および学内での成果発表の状況をふまえて総合的に評価する。				実習終了後の発表の場で講評する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	高村 浩司、粕山 達也、関口 賢人、関根 聡美、甘利 貴志、坂本 祐太、遠藤 悠介、駒形 純也、大塚 篤也 他						
教員の実務経験	理学療法士として複数名の臨床実習指導の経験を有している。						
実践的授業の内容	臨床現場で使用される検査、測定方法について、臨床経験に基づく視点から指導を行う。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、2 年次終了までに履修することができる必修科目の単位を全て修得していなければ履修できない。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。 ・ 常に最新のものをチェックするよう留意すること。 						

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】